

### 通学路(上谷新田周辺)整備

岡田 憲二 議員

以前にこの場でお願ひしておりました上谷新田に至る道路横の水路側溝にふたをして、児童が通学路として安心、安全に通学したいということとで事業化を進めていまして、一区間だけ事情があり、どうしても進めることができなかったが担当課(建設課)が一生涯命張って今回完全に完成いたしました。

「大網白里市職員措置請求について」  
問 1 回目の監査請求の結果は、同等のものを植栽することを市長、副市長、教育長に求める旨を市長に対して勧告した。これに基づき市長は26年1月17日に3者に対して措置を講ずるよう求め、3月29日に中央公民館敷地内にマキの木及びソテツを植栽したが、市長等が植栽したマキの木は伐採処分したマキの木と同等ではないとしてまたもや住民監査請求が7月30日に出された。この住民監査請求、これも永きにわたり新聞沙汰になったり等、市にとつて非常に不名誉な状況が続いているのか。私は副市長に、議会に謝ることを市長に伝えるよう3・4回言ったが、未だにそういう事実はない。市長に伝えたのか。

### 青少年の育成と人口減少の取り組みについて

秋葉 好美 議員

問 青少年の「インターネット」依存対策について、保護者や教師への啓発について伺います。

答 保護者への啓発については、特に夏季休業や冬季休業前には、インターネット依存による生活の乱れや自転車に乗りながらスマートフォンを操作する危険性などの内容を掲載しています。又教師への啓発については、市校長会などを通して情報を提供し問題意識の共有を図っております。

問 具体的な内容は。

答 文部科学省や千葉県が作成した映像資料などを活用し、全教師が児童・生徒に対し、生活リズムの乱れから学力が低下することや家庭でのインターネット利用のルールづくりの大切さなどを伝えられるよう取り組んでまいります。



給食を楽しく食べる中学生

問 次に道德教育について小・中学校でのちを大切にしているキャンペーン実施とありますが、どのように実施されているのか伺います。

答 いのちを大切にしているキャンペーンは県のいじめ防止啓発強化月間に基づいて実施されているものです。児童・生徒一人ひとりがいじめゼロ標語をつくって発表し、つくった標語には、いじめは絶対にいけないものだを改めて感じ、いじめ防止について理解を深める場となっております。今後も、一過性の取り組みにするのではなくさまざまな教育活動において適宜指導してまいります。

問 次に本市の人口減少の取り組みと定住・移住の現状と課題について伺います。

答 定住対策としては、個人住宅のリフォーム助成、子ども子育て支援としては、第3子以降の出産育児助成、中学3年生までの子ども医療費助成、小・中学校給食費一部助成、又移住促進に向けた各種施策としてニッポン移住・交流ナビのホームページに情報の発信を行っています。

問 人口減少社会が進む中、企業誘致と雇用創出について伺います。

答 今後、大網駅周辺の整備や圏央道スマートインターの設置を契機に本市の発展につながる企業誘致に努めてまいります。

その他福祉関係は2問質問しました。

求が7月30日に出された。この住民監査請求、これも永きにわたり新聞沙汰になったり等、市にとつて非常に不名誉な状況が続いているのか。私は副市長に、議会に謝ることを市長に伝えるよう3・4回言ったが、未だにそういう事実はない。市長に伝えたのか。

副市長 ありがたい助言の内容は市長と相談をしたところです。

問 植栽したマキの木は3人で支払うというようなことを副市長が話していたが、どういう割合で支払ったのか。

副市長 私と教育長の責任割合を大きくしている。

問 植栽したその日に新聞記者が元の所有者に取材をしたところ、お金は一銭ももらっていないと言っていたと聞く、それでも支払ったと言っているのか。

副市長 本人ではなく、非常に身近な方に支払っている。

問 「建設業協会」について

副市長 建設業協会を脱会し、新たな団体届けをした業者があるが何社加盟か。

答 3社です。

問 新しい団体には既存業者と同等な対応をすべき。

答 公平な観点で取り組み、協議していく。

その他、部制移行について、無理に部制をひく必要はない。人材が育つまで課制でよいと思う。



整備された清名幸谷の通学路

### 市民に吉報! 「駅前広場歩道の屋根の設置!」

石渡 登志男 議員

前回、いじめ問題について取り上げた、その後母親よりメールをいただいた。「学校でのいじめの件でお世話になりました。どんなにささいな事や普通の事でもあのひどい状況の中にいた私たちには今が幸せに感じます。」皆がその子に寄り添い一緒に考えれば、いじめは解決できる。もう一歩遅ければこの子は自殺した。今回は、以前質問した内容のように検討したのか、お聞きしたい。また市政というのは、業界団体の大きな声は反映しやすいが、街中にある小さな声、声にもならない声もしっかりとお聞きし、それを市政に反映していく。これがまさしく市民の為の市政につながるはずだ。

問 安全対策課の姿勢について。津波避難訓練の日時・内容を一切議員には言わない。以前にも言ったはず。

答 今後は議員の皆様には情報をお知らせします。

問 津波監視カメラを設置すべきだ。長生村ですでに予算化も行った。

答 設置に向けて、検討しています。

問 駅前広場歩道の屋根の設置について、これで私は5度目の質問だ。市民の利便性を考えることは当たり前のこと。いつまで市民に待たせようのか。私もうるさく言い、他の議員も言ってくださった駅前トイレも生まれ変わる。課長、もういい加減「検討課題」そういったことはやめよう。また市長・副市長とじっくり話し合いを言ったはず。そこで今回は市長に直接お聞きしたい。

市長 現在駅前広場の公衆トイレの改築計画を進めています。これに合わせて、屋根の設置方法等の調査を今年度に行った上で、屋根の設置を進めてまいります。



大網駅前広場の通路に屋根の設置を

### 改革 12

大野 英雄 議員

1. 大網駅南地区の整備について  
問 大網駅南地区の住民の勉強会と公募型プロポーザルの状況は

答 9月20日に勉強会の開催を予定している。

公募は9月12日に書類審査とヒアリング審査を行い、契約候補者を選定する。

問 駅前トイレの状況は

答 地域づくり課長 11月に業者選定を行い年内に着工し、年度内の完成予定としている。

2. パブリックコメントについて  
問 情報を知らない人が多い。メーリングリストで情報発信を提案する。企画政策課長 オープンデータの活用により効果が期待できると考える。

3. 団体補助金の見直しについて  
問 紐付き事業はどの位あるのか。



住民協働事業の笑いヨガに参加する人々

財政課長 40事業、約3千5百万円ある。

問 削減、中止など見直しは可能か

財政課長 効果が認められないものは廃止や縮小を検討し、効果がある事業は、継続や拡充が考えられる。

4. 申請書類の押印省略について  
問 千葉市は市長が指揮している。

市長 押印省略の全庁的な見直しのため調査の実施を指示している。

5. 職員のレベルアップについて  
問 官公民の人材流動化を提案する。

市長 近隣自治体や民間を含めた人材交流を実施している。

6. 次年度予算編成について  
問 住民協働事業の笑いヨガを横芝光町、匝瑳市、千葉市等にも拡げている。レセプトデータを収集し、笑いヨガで医療費削減を図り、本市を健康日本一にすることを提案する。

市民課長 レセプトデータについては、個人情報関係もあり、相談の上、対応したい。

7. 事務報告について  
問 本市の財政健全化判断指数は

財政課長 実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字決算なので算出されていない。実質公債比率は10・2%で、早期健全化基準の25%を下回っている。将来負担比率は56・6%で、早期健全化基準の350%を大きく下回っている。類似団体14団体の内、24年度決算は実質公債費比率10位、将来負担比率は9位となっている。